

株主の皆さまへ

2016年度 中間期

2016年4月1日～2016年9月30日

目次

社是・経営理念・倫理憲章・会社概要	1
ごあいさつ	2
トピックス	3
業績ハイライト	5
連結財務諸表	6
配当・株主還元方針について 大株主の状況・株主構成 ホームページのご案内	7

みんなのATM。
みんなのセブン銀行



株式会社

セブン銀行

証券コード：8410

社 是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

倫理憲章 (項目のみ抜粋)

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

会社概要 (2016年9月末現在)

- 名 称 株式会社セブン銀行
(英名: Seven Bank, Ltd.)
- 本 社 所 在 地 東京都千代田区丸の内1-6-1
- 設 立 2001年4月10日
- 開 業 2001年5月7日
- 資 本 金 30,572百万円
- 発行済株式数 1,191,528,000株
- 従 業 員 数 460人
(役員、執行役員、パート社員、
派遣スタッフを除く)

連結子会社

- **FCTI, Inc** (アメリカ合衆国)
事業内容: ATMサービス
- **FCTI Canada, Inc.** (カナダ)
事業内容: ATMサービス
- **PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL** (インドネシア共和国)
事業内容: ATMサービス
- **株式会社バンク・ビジネスファクトリー** (日本)
事業内容: 事務受託サービス

■ごあいさつ

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

セブン銀行は2001年の設立以来、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスの提供に努めてまいりました。おかげさまで2016年9月末には、国内ATM設置台数が23,000台を超え、1日平均210万人を超えるお客さまにご利用いただいております。

2016年度上期は長期金利が史上初めてマイナスになるなど、金利低下が一段と進む環境の中、ATM設置台数の順調な伸長などが寄与し、当社の業績は前年同期比増収増益を達成することができました。

近年、金融サービスの中にIT技術を取り込む動きが加速しており、リテール金融は大きく変わろうとしています。スマートフォンを活用した金融取引に対するお客さまのニーズも急速に拡大しています。当社もこうしたニーズに積極的に対応しており、そのひとつとして2017年春には、キャッシュカードを使わずにスマートフォンでATMでの入出金取引ができるサービスを導入する予定です。このように世の中の変化に主体的に関わり、次の成長に生かしていくことが、私たちの経営の大きなテーマだと考えています。

一方、社会インフラであるATMサービスを提供する当社にとって、お客さまにATMを安心してご利用いただくことは最も重要な使命であると考えております。当社はすべてのATMについて国際基準に則ったICカード取引

への対応を完了していますが、引き続きより高い安全性の実現を目指してまいります。

海外のATM事業では、2017年7月から開始する米国のセブン-イレブン店舗内へのATM設置に向けた準備を進めております。現在、米国子会社FCTI, Inc.のATM台数は6,000台強ですが、設置完了予定の2018年には15,000台規模まで拡大する見込みです。

これからも、皆さまの期待と信頼に応えるため、常にお客さまの立場でニーズを把握し、ATMサービスを軸とした様々な金融サービスをより便利に、より身近にしていくため、誠実に努力を続けてまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月



代表取締役社長
二子石 謙輔

「nanacoポイント」がたまる新カード デビット付きキャッシュカードが登場!

2016年10月17日より、「セブン銀行 デビット付きキャッシュカード」の発行を開始しました。日本で初めて、JCBデビットカードと電子マネー「nanaco」を一体化したキャッシュカードです。

デビット機能は、お買い物をする際にご利用代金をお客さまの口座預金から即時に引落すので、現金感覚でお使いいただけます。

デビット機能によるお支払いは、セブン・イレブンをはじめとする国内外のJCB加盟店にてご利用いただけます。また、ご利用いただくごとに「nanacoポイント」が付与され、電子マネー「nanaco」に交換することができます。

ご利用金額に対し、
nanacoポイントが付与されます。

利用店舗	付与ポイント
セブン・イレブン	ご利用金額の 1.5%
・そごう・西武 *食品・飲食・専門店を除く ・セブンネットショッピング ・デニーズ、ファミリー、 ポッポなど	ご利用金額の 1.0%
上記以外のJCB加盟店	ご利用金額の 0.5%

特に
おトク!

2016年10月17日現在

カードデザインは
3種類から
お選びいただけ
ます。



ポノロン絵柄のキャッシュカードは、1枚発行するごとにセブン銀行が100円を拠出し、全国の児童館に絵本を寄贈する、社会貢献型キャッシュカードです。

スマホによる ATM取引を来春より提供開始!

セブン銀行では来春(予定)より、提携先向けに、セブン銀行ATMでキャッシュカードのかわりにスマホを使いATMで入出金を行える「スマホATM取引サービス」を開始します。

本サービスでは、対応するアプリを起動したスマホでATMに表示されるQRコードを読み込むことで、キャッシュカードを使うことなくATM取引を行うことができます(下記取引イメージ図参照)。

今後は本サービスのプラットフォームを活用し、銀行だけでなくさまざまな事業を行うパートナー企業と提携を進め、ATMの新たなご利用シーンを広げてまいります。

LINE Payも 「スマホATM取引サービス」で ご利用可能に!

「スマホATM取引サービス」を活用して、来春(予定)よりセブン銀行ATMでLINE Pay(ラインペイ)の現金入出金が可能となります。LINE Payは、コミュニケーションアプリ LINEを通じて提供されているモバイル送金・決済サービスで、ユーザー間の送金や、提携サービス・店舗での決済を簡単・便利に行うことができます。

取引イメージ図(出金の場合)

1 ログイン

アプリを立上げログインします



2 アプリで取引選択

ATMボタンを押し、出金選択&金額入力
→ カメラが起動



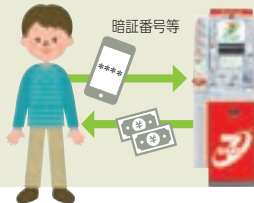
3 ATM操作開始

ATMの取引開始ボタンを押し、ATM画面に表示されたQRコードを撮影



4 紙幣の受け取り

スマホに表示された番号、暗証番号を入力し、紙幣を受け取ります

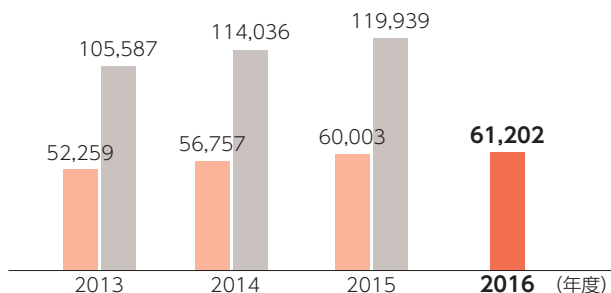


業績ハイライト

収益性 経常収益(連結)

(単位：百万円)

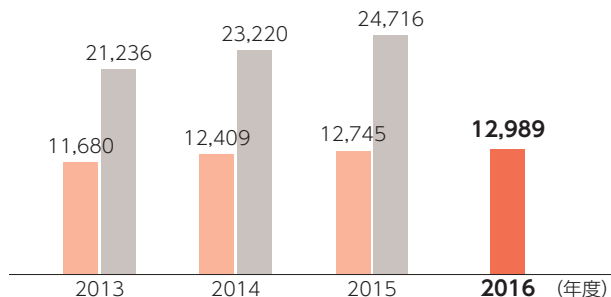
■ 中間期 ■ 通期



収益性 親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

(単位：百万円)

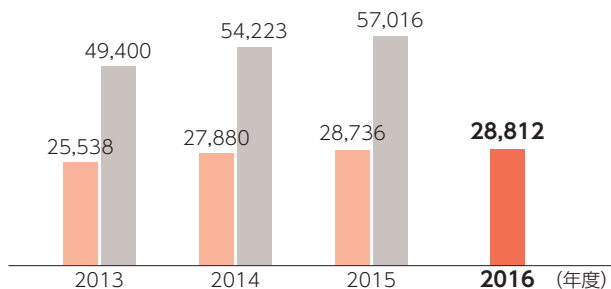
■ 中間期 ■ 通期



収益性 EBITDA(連結)

(単位：百万円)

■ 中間期 ■ 通期

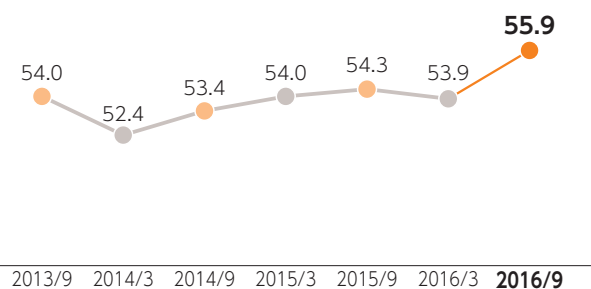


* EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

健全性 単体自己資本比率(国内基準)

(単位：%)

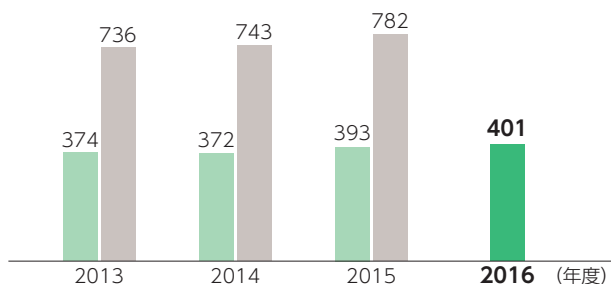
● 中間期末 ● 年度末



事業規模 ATM利用件数の推移(単体)

(単位：百万件)

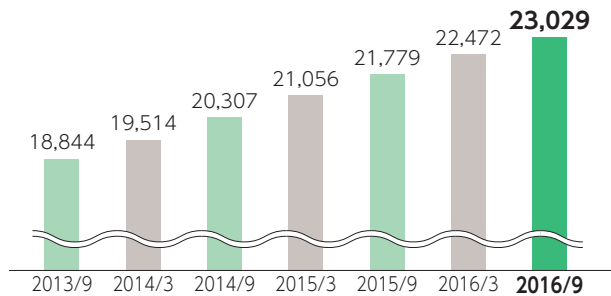
■ 中間期 ■ 通期



事業規模 ATM設置台数の推移(単体)

(単位：台)

■ 中間期末 ■ 年度末



■ 連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2015年度末 (2016年3月31日)	2016年度 中間期末 (2016年9月30日)
資産の部		
現金預け金	645,838	685,087
コールローン	25,000	18,000
有価証券	66,797	59,377
貸出金	16,208	17,944
ATM仮払金	83,407	92,699
その他資産	11,961	13,059
有形固定資産	30,890	28,701
無形固定資産	34,356	32,480
退職給付に係る資産	68	95
繰延税金資産	921	878
貸倒引当金	△65	△88
資産の部合計	915,385	948,234
負債の部		
預金	546,981	561,394
譲渡性預金	800	1,150
コールマネー	—	17,000
借入金	15,022	14,000
社債	110,000	110,000
ATM仮受金	37,830	37,217
その他負債	17,807	15,865
賞与引当金	458	432
退職給付に係る負債	0	0
繰延税金負債	1,690	1,295
負債の部合計	730,590	758,356
純資産の部		
資本金	30,514	30,572
資本剰余金	30,496	30,554
利益剰余金	117,402	125,032
自己株式	△0	△0
株主資本合計	178,412	186,160
その他有価証券評価差額金	343	241
為替換算調整勘定	5,462	2,902
退職給付に係る調整累計額	6	18
その他の包括利益累計額合計	5,812	3,162
新株予約権	545	533
非支配株主持分	24	21
純資産の部合計	184,794	189,878
負債及び純資産の部合計	915,385	948,234

■ 中間連結損益計算書

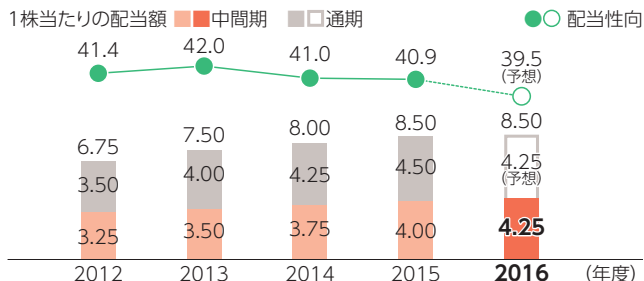
(単位：百万円)

科 目	2015年度中間期 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)	2016年度中間期 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
経常収益	60,003	61,202
資金運用収益	1,029	1,369
(うち貸出金利息)	924	1,291
(うち有価証券利息配当金)	39	18
役務取引等収益	58,744	59,597
(うちATM受入手数料)	56,002	56,588
その他業務収益	96	119
その他経常収益	133	114
経常費用	41,065	42,091
資金調達費用	646	501
(うち預金利息)	299	184
役務取引等費用	10,624	11,577
(うちATM設置支払手数料)	8,845	9,408
(うちATM支払手数料)	699	774
営業経費	29,753	29,940
その他経常費用	41	72
経常利益	18,938	19,110
特別損失	84	110
固定資産処分損	84	110
税金等調整前中間純利益	18,853	19,000
法人税、住民税及び事業税	6,514	6,089
法人税等調整額	△402	△77
法人税等合計	6,111	6,011
中間純利益	12,741	12,989
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△3	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	12,745	12,989

配当・株主還元方針について

セブン銀行は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけており、株主への適正な利益還元の観点から、内部留保とのバランスを勘案しつつ、現金による継続的な安定配当ができるよう努めています。配当性向については年間35%を最低目標として、配当回数については、年2回(中間配当及び期末配当)を基本方針としています。

■ 1株当たりの配当額(円)／配当性向(%)



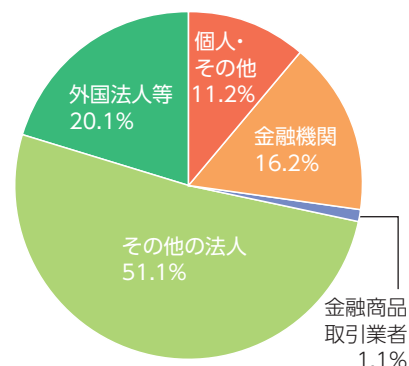
大株主の状況 (2016年9月末現在)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	453,639千株	38.07%
株式会社イトーヨーカ堂	46,961千株	3.94%
株式会社ヨークベニマル	45,000千株	3.77%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	30,232千株	2.53%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,885千株	2.00%
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	21,764千株	1.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,506千株	1.72%
株式会社三井住友銀行	15,000千株	1.25%
第一生命保険株式会社	15,000千株	1.25%
JP MORGAN CHASE BANK 385174	14,340千株	1.20%

※1 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

※2 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主構成 (2016年9月末現在)



※小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

ホームページのご案内



最新のお知らせやセブン銀行の紹介、機関投資家向けの**決算説明会動画**などがご覧いただけます。

<http://www.sevenbank.co.jp/ir/>

